

新型インフルエンザ発生状況

1 岐阜県内の動向

県内感染者発生状況（岐阜市を含む）

- ・ 6月16日（県内初の感染者確認）～ 7月23日（患者の全数把握終了）

計 102名（PCR検査を実施し、感染が確定した人数）

【男女比】男60人、女42人
 【圏域別】岐阜47人、西濃13人、中濃21人、東濃21人、飛騨0人
 【職業別】大学生25人、専門学校生5人、高校生10人、中学生24人
 小学生13人、幼稚園・保育園児3人、その他22人

- ・ 7月24日以降～ 8月20日（集団感染が疑われる事例の把握）

計 35件（集団発生の端緒をとらえてPCR検査を実施）

【種類】高校（部活動）14、高校（学級）2、保育所 6、病院 4、
 学童保育 3、中学校（部活動）2、大学（部活動）1、
 幼稚園 1、老人介護保健施設 1、特別養護老人ホーム 1

2 国内の動向

感染者数（全数把握時点まで）

全数把握時点（7月23日）まで（7月24日現在：厚生労働省発表資料）

- ・ 国内：47都道府県 5,024名（うち36名は成田空港等の検疫）
- ・ 患者数の多い都道府県
 大阪府 963名、神奈川県 432名、愛知県 403名、兵庫県 369名
 福岡県 298名 岐阜県 102名

（内訳）

北海道	125	青森県	8	岩手県	15	宮城県	5	秋田県	14
山形県	3	福島県	24	茨城県	179	栃木県	95	群馬県	42
埼玉県	74	千葉県	220	東京都	226	神奈川県	432	新潟県	41
富山県	12	石川県	91	福井県	15	山梨県	19	長野県	25
岐阜県	102	静岡県	86	愛知県	403	三重県	27	滋賀県	109
京都府	182	大阪府	963	兵庫県	369	奈良県	73	和歌山県	94
鳥取県	21	島根県	11	岡山県	13	広島県	92	山口県	40
徳島県	38	香川県	51	愛媛県	12	高知県	33	福岡県	298
佐賀県	22	長崎県	22	熊本県	9	大分県	91	宮崎県	25
鹿児島県	9	沖縄県	128						
成田空港等の検疫	36								

集団感染が疑われる事例の把握（7月24日～）

（8月16日現在：厚生労働省発表資料）

- ・ 国内：1,734件
- ・ 集団感染例の多い都道府県
 沖縄県 217件、大阪府 184件、東京都 160件、千葉県 103件、
 兵庫県 84件 岐阜県 21件

(内訳)									
北海道	6	青森県	34	岩手県	12	宮城県	18	秋田県	6
山形県	9	福島県	15	茨城県	85	栃木県	26	群馬県	18
埼玉県	72	千葉県	103	東京都	160	神奈川県	62	新潟県	31
富山県	3	石川県	12	福井県	2	山梨県	15	長野県	49
岐阜県	21	静岡県	34	愛知県	48	三重県	16	滋賀県	10
京都府	67	大阪府	184	兵庫県	84	奈良県	28	和歌山県	18
鳥取県	9	島根県	15	岡山県	7	広島県	14	山口県	19
徳島県	12	香川県	6	愛媛県	19	高知県	7	福岡県	53
佐賀県	9	長崎県	37	熊本県	16	大分県	4	宮崎県	22
鹿児島県	20	沖縄県	217						

国内死亡例

・現在3名の死者が確認されているが、3名とも慢性腎不全、糖尿病、心不全などの基礎疾患を有するハイリスク者であった。

- 1) 沖縄県の男性(57歳) 8月15日(土)
 - ・慢性腎不全で人工透析を受けており、心筋梗塞(こうそく)の治療歴もあった。
 - ・死因は新型インフルエンザから肺炎を起こしたことによる敗血症性ショックだった。
- 2) 神戸市の男性(77歳) 8月18日(火)
 - ・男性は糖尿病、高血圧、重度の肺気腫の基礎疾患があり、腎不全で週に3日、人工透析を受けていた。
 - ・急性気管支炎で肺気腫が急速に悪化したのが死因。
- 3) 名古屋市の女性(81歳) 8月19日(水)
 - ・血液のがんの一種である多発性骨髄腫と心不全の基礎疾患があり、免疫力が低下していた。
 - ・新型インフルエンザに感染したことで、せきなどがひどくなり、重症肺炎のため死亡した。

3 海外の状況

海外：151の国や地域 177,457人(うち死者1,462人)
 (8月14日現在：外務省ホームページに掲載されたWHO公表データ)

日本を含め、米国、英国、アルゼンチン、サウジアラビア、シンガポール、ボリビア等既に感染者の全数検査をとりやめている国・地域もあり、以下の感染者数は各国・地域政府当局等が最後に公表した数値。

最近のトピック

- 1) 現在世界規模で感染が拡大
 - ・新型インフル、世界の死者は1462人=WHO集計(8月15日)
 - 世界保健機関(WHO)によると、全世界で新型インフルエンザによる死者は6日時点で累計1462人に上っている。感染者が確認されたのは170カ国・地域で、累計感染者数は少なくとも17万7457人となっている。
- 2) 現在冬にあたる南半球では感染が拡大、アルゼンチン、ブラジルでは死者急増
 - ・ブラジルの新型インフルエンザの死者368人に(8月19日)
 - ブラジル保健省は18日、新型インフルエンザ感染による同国での死者が368人に達したと発表した。一国の死者としては、米国(477人)、アルゼンチン(404人)に次ぎ世界3番目に高い状態が続いている。
 - ・オーストラリアは冬の流行期のさなかにあり、3万2224人の感染例を確認、121人が死亡した(8月20日)
- 3) 日本だけでなく、アジア内でも感染拡大。日本と同時期に韓国でも死者発生
 - ・香港：1日最多の345人増。感染者8000人に迫る(8月19日)
 - ・中国：中国本土の感染、2729人に(8月18日)

- ・ 韓国：新型インフルで2人目の死者発生（8月16日）